



## 競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2024年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。本事業の実施により、安全で快適かつ円滑な送迎サービスをご利用様の提供できるようになりました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益社団法人JKAをはじめ、協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

### 記

事業名 2024年度競輪補助補助事業

事業の内容 福祉車両 移送車2【スロープ式】日産NV200

実施場所 山梨県甲府市和田町 2948番地 6

【特別養護老人ホーム尚古園】

完了年月日 2024年11月25日



事業者名 社会福祉法人 善隣会  
代表者名 理事長 廣瀬 朱實

整理番号 2024P-312

補助事業名 2024年度 福祉車両・就労支援車両の整備 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人善隣会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

福祉車両を整備することにより、より安全で快適かつ円滑な送迎運行体制を実現し、ご利用者のニーズに応えられる支援体制を構築することで、社会福祉の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

移送車2 車いす仕様〔スロープ式〕



## 2 予想される事業実施効果

- 特別養護老人ホーム尚古園のご利用者の外出レクリエーションや受診送迎、併設短期入所介護事業所の送迎時に車イス利用者を2名同時に対応出来ることで業務効率の向上が見込める。
- 併設デイサービス及び法人内の各事業所でも、複数人の車イスご利用者の送迎等で車イス利用者を2名対応するニーズが高いため、複数の事業所でこの車両を共有して活用することで、負担軽減が見込める。
- 老朽化した車両の入れ替えは、様々な安全装置が装備されている最新車両を使用することになるため、より安全で快適かつ円滑な送迎運行体制を構築することができる。

## 3 補助事業に係る成果物（印刷物等）

機関紙 月間尚古園デイ

尚古園事務連絡文書

施設内ポスター「福祉車両の助成をいただきました【公益財団法人JKA様】」

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人善隣会（シャカイフクシホウジン ゼンリンカイ）

住所： 〒400-0001

山梨県甲府市和田町2948番地の6

代表者： 理事長 廣瀬 朱實（ヒロセ アケミ）

担当部署： 法人事務局（ハウジンジムキョク）

担当者名： リーダー 中込 慎悟（ナカゴミ シンゴ）

電話番号： 055-253-7231

F A X： 055-253-7228

E-mail： tokuyo@zenrinkai.or.jp

U R L： <https://www.zenrinkai.or.jp>

## 広報誌



月刊  
尚古園デイ  
1月号  
令和7年  
1月1日発行

尚古園デイサービスセンター

お知らせ！  
11月25日に公益財団法人JKA様より、福祉車両の助成金を受けて購入しました「NV200」が納車になりました。車イスが2台も乗る優れたものです！

新車がやってきました！  
NV200です  
よろしくお願ひします！

所長よりご挨拶  
謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
昨年は日々温かいご支援を賜りまして誠に有難うございました。  
今年も笑顔溢れる、安心・安全な心地の良い居場所を目指し職員一同、より一層のサービス向上に努めて参ります。今年もどうぞよろしくお願い致します。  
新年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

発行元 社会福祉法人 善隣会 尚古園デイサービスセンター  
〒400-0001甲府市和田町2948-6 TEL 055-255-1215 FAX 055-255-1216



# 印刷物

## 福祉車両の助成をいただきました【公益財団法人 JKA 様】

「2024年度 福祉車両の整備 補助事業」を公益財団法人 JKA 様からの補助金をいただき特別養護老人ホーム尚古園に新しい送迎用福祉車両を整備することが来ました。整備事業が完了しましたことをここに報告させていただきます。

事業名：2024年度 福祉車両の整備 福祉事業  
事業の内容：移送車2 車いす対応車両（スロープ式）  
補助金額：2,100,000円  
事業完了日：2024年11月25日



### 補助事業の概要

#### ○事業の目的

福祉車両を整備することより、送迎業務（受診の送迎、外出対応等）の効率化及び安全装置の整った車両による安全・安心な運行体制を実現していく。

また、法人内の事業所で共有することで、貴重な車イス対応車両の効率的な運用を行っていくことで、様々なご利用者のニーズに応えられる支援体制を整備することで、社会福祉の増進に寄与する。

#### ○事業の内容

特別養護老人ホーム尚古園では、車イス2台を送迎できる車両が無かったため、公益財団法人 JKA 様の助成をいただき今回の福祉車両の導入を行いました。

車イスが2台乗車できる車両は、大型の車両が多いのですが、今回導入しました「日産NV200」は中型車であり、ご利用者の外出レクリエーションや受診送迎、併設短期入所介護事業所の送迎時など幅広い活躍を期待しております。

また、併設の尚古園デイサービスセンターの送迎業務においても、活躍できる車両ですので、法人内の様々な事業所で有効に使用できるように取組んでおります。

# 事前計画/自己評価表

<自己評価1回目>

整理番号	2024P-	312	補助事業者名	(福)善隣会
------	--------	-----	--------	--------

## 別紙4 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2025	年	1	月	8	日	作成者	中込慎悟
-----	------	---	---	---	---	---	-----	------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5)①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (二一ス)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	事前計画通り、移送車2(定員6名)を導入しました。導入予定車両の受注停止により見積合わせが事前計画より遅れましたが、受注再開後は問題なく手続きが進み11月に納車となりました。納車後は通所事業所の週6日の送迎を中心に使用しています。春より入所施設のお花見などの外出レクでも使用していく予定です。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	導入予定車両の受注停止により導入が事前計画より遅れたが、無事に導入することが出来ました。導入後はドライブレコーダーの設置、定期的な車両点検を実施し、より安全にご利用者を送迎出来る体制を整えています。				4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和6年11月	[達成状況] 50%	[具体的内容] メーカーの受注停止により販売店から見積書が徴収出来ず、業者選定の時期が事前計画より大幅に遅れてしまいました。受注再開後は迅速に業者選定を行い、最短での導入出来るように努めました。	1
	事業の成果・波及	[達成値] 1日平均利用者数 2.5名	[達成状況] 30%	[具体的内容] 令和6年11月より運行を開始していますが、12月に施設内でコロナウイルス及びインフルエンザの感染流行が発生してしまったため、外出・ショートステイの受入れなどが大幅に制限されてしまいました。感染症流行の終息後は利用者数の増加を予定しております。	1
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1. 1回 2. 1回	[達成状況] 1. 75% 2. 100%	[具体的内容] 1.機関紙「月刊尚古園デイ」及び「尚古園事務連絡」へ紹介記事を掲載し、関係者へ配布しました。機関紙「尚古園だより」の発行が遅延となったため、事前計画を下回っております。 2.ホームページのトップページへ紹介記事の掲載を行いました。	3
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1. 1回 2. 1回	[達成状況] 1. 75% 2. 100%	[具体的内容] 1~2. 上記の情報発信時には、常にオートレース補助金による事業であることを明示しました。	3
(5) 自己評価の体制	評価委員会を開催し評価を行いました。自己評価結果についてはホームページに掲載しております。				3

#### (b) 総合評価

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。		総合評価点
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての	導入予定車両の受注停止により見積合わせが事前計画より遅れましたが、受注再開後は問題なく手続きが進み令和6年11月に納車となりました。12月より施設内で感染症が流行してしまったため、事前計画より利用者数が減少しておりますが、終息後は送迎だけでなく外出レク等にも積極的に利用する予定です。	3
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	車いすに乗ったまま2名の方を同時に送迎出来る効率性を活かすため、送迎方法の見直しを行い送迎業務の時間短縮が可能となりました。複数の事業所で車両を利用することで事業所間の連携が向上しました。	
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	先進安全装備でより安全に、ゆとりある車内空間と設備でより快適にご利用者の送迎が行えるようになりました。	

【福祉車両・就労支援車両】

整理番号	2024P-	312	補助事業者名	(福)善隣会
------	--------	-----	--------	--------

## 別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(5/5)

### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因	*		(1) 経費	(1) 3社の見積合わせを実施し、申請時より経費削減を行いました。  (4) 事前計画では令和6年5月業者選定を行い、令和6年7月に導入を行う予定でしたが、メーカーの受注停止により見積合わせが実施出来ず業者選定が令和6年7月となりました。また導入についても受注再開後に注文が集中したため、納期が遅くなり令和6年11月の導入となりました。	(1) 他の福祉備品等でも、適正価格を把握できる体制を継続して、法人の安定経営に繋げていく。  (4) 受注再開後すぐに販売店へ見積書の作成を依頼し、迅速に見積合わせを実施して業者選定を行いました。また運転担当者が納車・検取に同席し、その場で販売店と使用方法についての質疑応答を行ったため、導入後もスムーズに稼働しております。
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
		*	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外の要望への対応)		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
		(16) 特になし			